

市政に関する提言書

令和7年3月

新居浜市議会

本市議会では、議会基本条例に基づき、政策形成に市民の意見を反映させることを目的として市民との意見交換会を実施しております。令和6年度は、次のとおり各常任委員会がそれぞれ設定したテーマについて関係団体や中学生等と意見交換を行い、多くの意見や要望等をいただきました。

いただいた意見や要望等について内容を整理し、常任委員会ごとに市政に関する提言書として取りまとめました。今後の市政推進の一助としていただくよう市長に対し提言を行うものです。

本市議会といたしましても、市民に開かれた議会を目指すとともに、市民の多様な意見を的確に把握し、政策形成に適切に反映することができるよう努めてまいります。

令和6年度新居浜市議会「市民との意見交換会」

開催年月日	常任委員会名	団体等参加者	開催場所
令和7年 1月10日(金)	市民福祉委員会	新居浜市医師会 健康長寿地域拠点且之上世話人 新居浜東高等学校生徒 【意見交換テーマ】 健康寿命の延伸	新居浜市医師会館
令和7年 1月14日(火)	経済建設委員会	新居浜市管工事業協同組合 【意見交換テーマ】 上下水道の将来について	新居浜市管工事業 協同組合会館
令和7年 1月24日(金)	企画教育委員会	中学生 各校2名×11校 【意見交換テーマ】 新居浜市の未来について中学生 として思うこと、何が一番必要だと 思うか	新居浜市議会議場

企画教育委員会

テーマ：新居浜市の未来について中学生として思うこと、何が一番必要だと思うか

企画教育委員会では、普段は議会や市政に触れる機会が少ない中学生から本市の未来について、また、必要だと思うことについて意見を聞くため、市内 11 中学校の生徒会役員の皆さんに参加してもらい、意見交換会を行いました。また、非日常を体感してもらいつつ、他校の生徒会や市議会議員とのつながりを深めていきながら市議会を身近に感じてもらうために、議場にて開催しました。

生徒会役員と市議会議員は、選挙に立候補した共通点があるため「なぜ生徒会に立候補したのか」「なぜ市議会議員に立候補したのか」の想いを共有した後、新居浜市の未来について中学生として思うこと、何が一番必要だと思うのかについて発言してもらった内容に対して、議員が質問したり、考えを述べたりすることで、参加者と共に考え、意見交換しました。

人口減少、経済、防災、交通、観光、居場所づくりなど、新居浜の未来に向けて必要だと思うことを皆さん堂々と発言してくれました。また、議場での進行（入退室や発言前挙手、採決など）も市議会を模して行い、今回の内容をここだけで終わらさず、新居浜市の未来のために繋げるためにも、意見交換会の内容を基に、後日市長へ提言書として提出することが全会一致で可決されました。

以上の結果を踏まえ、次のように提言いたします。

- 1 学生や若者が楽しめるような商業施設や屋内スポーツ施設を誘致すること
- 2 別子山地域の観光施設の充実を含めた市内観光事業を強化すること
- 3 お土産などの特産品の開発支援を行うこと
- 4 利用ニーズに合った公共交通の見直しとドライバー確保に向けた支援を行うこと
- 5 子供や若年層の声を聞く場を増やすなど、意見を交換する機会を充実させること
- 6 生徒会と校区自治会など、ベテラン世代と若い世代の交流会の開催を検討すること
- 7 全中学校の生徒会通信を大型商業施設や市役所ロビーに展示するなど、新居浜の魅力を学校から発信する活動を行いながら、他校生徒との交流を深化すること
- 8 大学や専門学校の市内誘致も含めた高校卒業後の進学についての多様な支援を行うこと
- 9 大学入試共通テストの試験会場誘致に向けて再検討すること
- 10 子供目線での本市伝統文化継承の仕組みづくりを含めた市内外プロモーションを行うこと
- 11 海外へのシティプロモーションを行うこと
- 12 南海トラフ巨大地震への対策強化と情報発信強化による防災意識向上を図ること

市民福祉委員会

テーマ：健康寿命の延伸

今年には2025年問題と言われる団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護などの社会保障費の増大が懸念される年となります。人生100年時代といわれる中、高齢になっても元気で生き生きと暮らせるよう、健康上の問題がなく日常生活を送れる健康寿命を延伸し、平均寿命に近づける必要があります。

そこで、市民一人一人の意識の高まりに合わせて社会の環境改善を積み重ね、地域をあげた総合力で健康寿命を延ばしていきたいと考えるため、テーマを「健康寿命の延伸」とし、医師会、健康長寿地域拠点、新居浜東高等学校の生徒の皆様からご意見をお伺いしました。

市民福祉委員会としまして、意見交換で得られた各団体からのご意見、ご要望につきまして、委員会で協議を行い、新居浜市の「健康寿命の延伸」実現のために次のように提言いたします。

1 医療分野

- (1) 内科・小児科急患センターを早期新築移転すること
- (2) 市と医師会との合同防災シミュレーションを実施し、連携、役割分担、課題の確認を行い、体制強化を図ること
- (3) 医療・介護従事者不足対策について
 - ・外国人の雇用支援を含め、医療、介護従事者確保対策を図ること
 - ・看護学校就学補助を行うこと
 - ・看護学校の高度化に対する支援を行うこと
 - ・病児保育サービスを拡充し、休日、夜間でも利用できるようにすること
- (4) 喫煙、受動喫煙対策について
 - ・公共施設敷地内を禁煙とすること
 - ・全世代に対し、喫煙、受動喫煙が健康に及ぼす被害の周知啓発を図るなど、受動喫煙防止対策を推進していくこと
- (5) 予防接種の充実について
 - ・個別勧奨通知を行うこと
 - ・費用補助の拡大を行うこと
- (6) シェアライド導入等により高齢者の受診時の交通手段確保支援を行うこと
- (7) 視力、視野障がいによる身体障害者手帳を有する方への拡大読書器購入の補助拡大を行うこと

2 地域での健康活動

- (1) 歌詞付きDVDの作製などPPK体操の取り組みへの支援を行うこと
- (2) 地域福祉バスが2台体制となるよう支援を行うこと

3 若年世代からの健康増進

- (1) 屋内外におけるスポーツ施設等の整備を行うこと
- (2) スマホ使用や、喫煙、受動喫煙が健康に及ぼす被害の周知促進を行うこと
- (3) がん検診等の受診の重要性を認知させる取り組みを行い、家族等に積極的に受診を勧めていく機運の醸成を図ること
- (4) 健康のための食生活改善の啓発を行うこと

経済建設委員会

テーマ：上下水道の将来について

“持続可能なまちづくり”の重要なインフラである上下水道の将来について、新居浜市管工事業協同組合の協力を得て、現状の課題や今後考えられる対応策について協議し、将来にわたり官民連携して取り組む方策について検討を行いました。言うまでもなく、上下水道は市民生活のライフラインであり、昨年1月に発生した能登半島地震において、広範囲な断水や上下水道の破断が発生し、市民生活に大きな支障をきたしたことは周知の事実です。新居浜市においても、今後想定される巨大地震や災害に対応できる設備として維持管理していく必要があります。現在、上下水道の事業に携わられている管工事業協同組合と、上下水道の将来について議論し、今後の展望について意見交換することは非常に有意義であると考え、今回の意見交換会を開催しました。

この中で協議された内容を基に、これからの上下水道事業について“持続可能なまちづくり”を推進するために、次のように提言いたします。

1 災害対応について

- (1) 避難場所となる学校や公民館に防災井戸を設置すること
- (2) 災害時の対応として、組合への要請は一本化し、体制の確保や指示命令系統を明確化するなど、連携強化を図ること
- (3) 水道管の耐震事業は今後とも着実に実施すること

2 ウォーターPPPについて

- (1) 管工事業協同組合が実施する事業内容について、市との協議の場を継続し、意見交換が出来る場を確保すること
- (2) 10年契約で一括して大手業者に発注した場合、途中での単価見直しなど情勢に応じた契約変更を可能とすること

3 上下水道の維持について

- (1) 人材確保と育成が大きな課題であるため、市としても積極的に採用に関わる機会を提供すること
- (2) 合併処理浄化槽の補助金交付について、新築住宅も含めて対象とすること
- (3) 事業の継続のため、また、企業としての体力維持のために、期初におけるさらなる工事量の確保、発注に努めること